



hito×hitoをつなぐコミュニティ、あります。

なにかはじめてくなるまち、 加西

兵庫県加西市

vol.1

“はじまりの朝”編



『なにかはじめてくなるまち、加西』



〒675-2395 兵庫県加西市北条町横尾1000番地
TEL：0790-42-8764 FAX：0790-43-1802
e-mail：kiteka@city.kasai.lg.jp

www.city.kasai.hyogo.jp

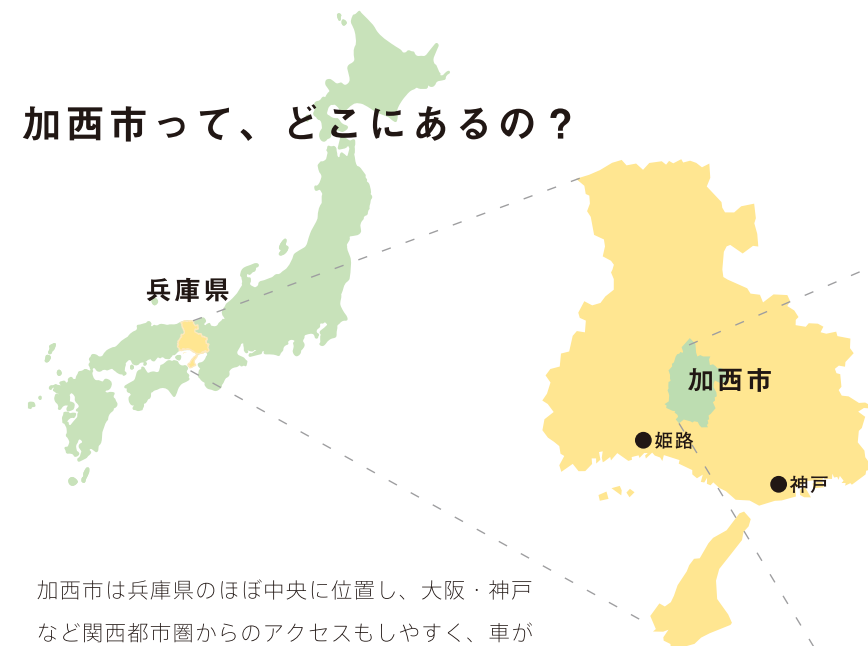
Facebookで情報発信中!!

なにはじ
コミュニティ
加西グループ



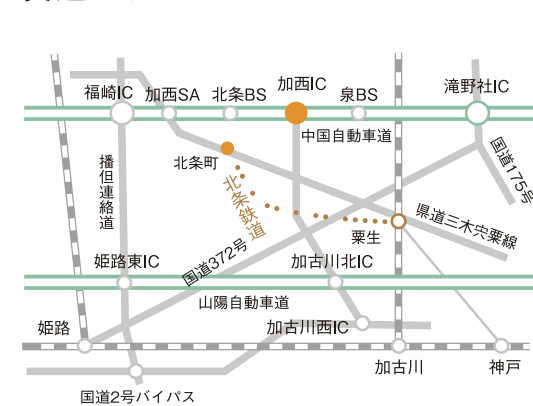
イーナカサイ

加西市って、どこにあるの？



加西市は兵庫県のほぼ中央に位置し、大阪・神戸など関西都市圏からのアクセスもしやすく、車がなくても電車やバスで来ることもできる街です。

交通アクセス



大阪から	車で 75分	高速バスで 90分	電車で 110分
神戸から	車で 65分	高速バスで 70分	電車で 90分



加西全域 ⑨⑩ (何の数字かは p13 に go!)

朝がイイ、加西



加西市は田舎すぎず、都会との距離も離れすぎず、ちょうど良い「ミライナカ」なまち。

都市とのほどよい距離の「トカイナカ」

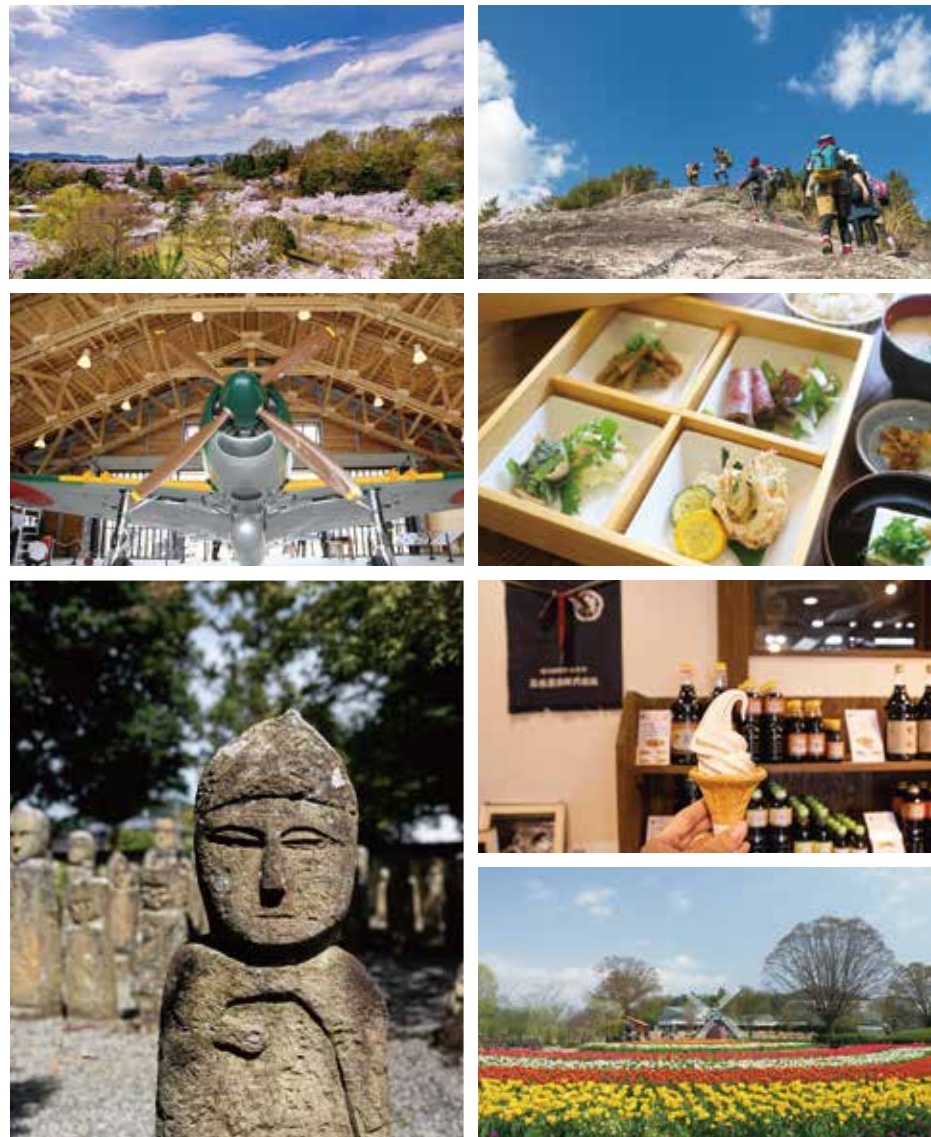
温暖で穏やかな瀬戸内海式気候で過ごやすく、北条鉄道が JR・神戸電鉄に接続し、高速バスなら大阪まで 90 分と都会とのアクセスも良好で、自然と都市とのバランスのいいまちです。

未来へ繋がる産業・農業と市民が活躍する「ミライナカ」

高度な技術と独自性でグローバルに活躍する企業が立地する一方、新しい農業に取組む環境も充実しています。また、スポーツ・文化活動など老若男女が地域で活躍できるまちです。

毎日の暮らしに必要なものが身近にそろう「ベンリイナカ」

豊かな自然が身近にありながら、買物・医療・教育といった毎日の暮らしに必要なものも身近にそろっており、生活の利便性の良さを感じながらのびのびと子育てができるまちです。



**加西市には
「なにかはじめたくなる」
そんな魅力があります。**

天高い青空に映える気球、
 壮観な岩山に登り、
 発酵料理に舌鼓み。
 五百羅漢さんをお参りして、
 醤油ソフトのほんのり塩気が甘みを引き立て、
 フラワーセンターの花は四季折々。

歴史感じる旧市街があり、日常出会えない表情を見せる自然も残る各所へは、単線の味わいある北条鉄道がお出迎えします。

加西の各所に見られる魅力は、「むすぶ」+「かけあわせる」ことで、よりその魅力を感じられるものに変身し、皆さんの目にさらに触れられるようになります。
 魅力を都市の人々とむすんで、都市の人々に、よりいいものとして掛け算してもらいPRしてもらうことで、加西にもともとある魅力やまだ見つけ出されていない魅力を発信していきます。



魅力をむすんで、かけあわせる



たとえば...

「ぶどうの皮を〇〇に活用」



-  魅力を伝える加西の人々
-  一緒に考える都市部の方々



このまちならではのコミュニティの誕生!?



加西で「なにかをはじめたい人たちを応援する」
コミュニティが生まれたのは、「こんな場が欲しい」という声からでした。

都市と交流できる場

情報発信をまとめ届ける場

解決方法を一緒に話し合える場

対話・交流の場

帰りたくなる場

自分の生活とつながる場

悩みややりたいこと
を共有できる場

つながりたい人を
紹介してくれる場

なんでも話せるゆるいコミュニティ

アイデアを企画に変えていく場

過程が分かる、失敗共有の場



- なにかをはじめたい人たちとは？
→主体的な意志をもち、課題解決にむけて、
加西でなにかをはじめたい人たち
- なにはじ加西コミュニティとは？
→上記の活動を応援するコミュニティ

そんなコミュニティが、2019年に生まれ、一年間の活動を通して、加西市内や加西と都市部を繋ぐ「なにはじ Café」や加西市内の地域資源を楽しむ部活動、困り事の解決をするために、人とシゴトを繋ぐ TETTAU (てったう*) サービス等の新しい取り組みを準備しています。

※てったう = 手伝う・・・加西市をはじめ播州のことば。

これまでの“なにはじ”コミュニティ
 関西“なにはじ挑戦コミュニティ” 加西市“なにはじ応援コミュニティ”

加西でなにかをはじめたい方々を対象に、今後の加西市でのコミュニティづくりを目指した取り組みです。都市部では「挑戦コミュニティ」、加西市での地域内では「応援コミュニティ」を開催。将来的にはこのふたつが融合して「なにはじ CAFE」や「部活動」として応援していきます。

なにはじ**挑戦**コミュニティ 関西

2019年9月28日 第1回 都市交流会（大阪）

なにかをはじめたい挑戦コミュニティの第1回都市交流会。「挑戦」をキーワードに前半は、加西市で活躍する人たちのチャレンジスピーチを実施し、後半は、参加者のこれから挑戦したいことを考えるチャレンジワークと加西市にあるソーシャルキッチン「O Cha No Ma」を活用したチャレンジアイデアワークを行いました。



2019年10月19日～20日
 第2回 都市交流会
 （現地フィールドワーク）

第1回都市交流会参加者を中心に都市部在住メンバーが加西市を訪問し、現地フィールドワークを2日間開催。初日は、DIY 等まちあそび体験や鶴野飛行場、北条鉄道、古法華自然公園等を回り、夜は加西市でなにかをはじめたい人たちの地域交流会に参加。2日目午前は西在田地区や、果菜マルシェが開催されているアスティア加西を見学、午後は地域資源の洗い出しなどのアイデアワークを行いました。



加西市 なにはじ**応援**コミュニティ

2019年9月20日 第1回 地域交流会

加西市内でなにかをはじめたい人を対象とした第1回地域交流会。プログラムは、前半「子育てママ編」、後半「チャレンジワーク編」で実施。なにかをはじめたいことや課題の共有からその解決策や今後のアクションを考える機会となりました。



2019年10月19日 第2回 地域交流会

第2回地域交流会は、前回の参加者3名が、加西市でこれからはじめたいことを発表し、都市部からの参加者や市内参加者たちとその課題解決に向けて共に考え、今後のアクションプランを考える機会となりました。



2019年12月18日 第3回 地域交流会

2019年12月22日 第4回 地域交流会

2019年11月16日 第3回 都市交流会（大阪）

第3回都市交流会は、これまでの参加者に新しいメンバーも加えて、地域フィールドワークの振り返りと、参加者が時間を忘れてしまうぐらい夢中になる偏愛マップづくりから自分資源の洗い出しを行い、それらを加西市の地域資源を組み合わせ、これから加西ではじめたい部活動アイデアを出しました。



2020年1月11日 第4回都市交流会：新年会（大阪）

2020年1月18日～19日 第5回 都市交流会（第2回現地フィールドワーク）

第5回都市交流会は、前回の交流会アイデアから生まれた部活動の実践機会となりました。空き家を見学し、その活用アイデアを考える活動、地域に眠る未利用資源を活用した商品開発案の検討、情報発信や古法華自然公園からの登山、ボードゲームなど様々な部活動のトライアルを行いました。

2020年1月27日 第6回 都市交流会（東京）



2020年1月18日
 第5回 地域交流会「なにはじ CAFE」

第5回地域交流会は、加西でなにかをはじめたい人たちと都市から参加された人たちと加西食材を使った料理を共に作り、頂き、なにかをはじめたいことについての悩みやこれからのアクションを共に考え、交流する機会となりました。



今後の展開 2020年以降
 「なにはじ Café」や「部活動」等
 地域資源を活用した取り組みを
 開催予定！



“なにはじコミュニティ” 加西市で活動の拠点となる場

O Cha No Ma



おまんじゅう屋さんを改装した、誰でも利用できる町のキッチン。日替わり店主制で個性あふれる様々な料理や店が楽しめ、出店者と客とのコミュニケーションが生まれる場です。
 加西市北条町北条 1098-9



o.cha.no.ma

HOJOMACHI HOSTEL



かつて在郷町として発展した北条旧市街地を、再び人々が行き交う場所にしたいとの思いから生まれたゲストハウス。地元の方々との距離も近いこちらに泊まれば、自然と交流も生まれます。
 加西市北条町北条 1098-15



hojo_machi_hostel

これからの
活動紹介 NO.1

おうち部



VISION

創る暮らし : Make your Own Life

加西市のリソースをみんなで再発見し、イベント的でなく、日々の生活の延長で有効に活用することを目指す。

ACTION

○加西市に眠る地域資源を調査し、活用方法をみんなで検討・実践すること。

- 新たな拠点づくり。
 - ・空き家や空き地などの調査や整備を行う。
 - ・DIY体験や建材づくりなどを行い、知恵や技術を共有する。
 - ・週末移住や拠点シェアなど、多様な住まい方を考える。

RESOUSE

- 加西市内にある空き家、倉庫、空き地、山など
- 生産工程で廃棄されてしまう未利用品など

KEY WORD

- “消費者”から“当事者”へ
- “イベント”から“日常”へ

おうち部では、「住まいや暮らしを自分ごととして捉え、一緒に考えていく。」をコンセプトに、加西市内の空家・空きスペースの利活用を図ります。家づくりも施主と作り手が別々でなく、まちづくりと同じで住民同士一緒に作り上げていくことを心がけていきたいですね！

まずは都市部の方々でも参加しやすくなる基地づくりを、それこそ一緒にDIYで作っていただければと考えており、「O Cha No Ma」の二階など実際に「てったって」もらえそうな空間の候補がいくつか出てきそうです。



加西の案内人 01



カワイデザインワークス
建築士・整理収納アドバイザー

かわい ゆきこ

河合 由紀子

鳥根県松江市出身。夫とともに加西市に定住後は、子育てと建築設計・整理収納アドバイザーの仕事の両立をこなす。今後は、女性がいきいきと自分らしく暮らせるような住まいの提案をしていきたい。

加西のくらしで大切にしているコト。

- 1。良い気候・自然環境
(子供と外で遊べる)
- 2。地元産のおいしいもの
(野菜・果物・ワイン・お酒など)
- 3。作り手さん同士のつながり
(O Cha No Ma など)

加西の案内人 02



カワイデザインワークス
建築士

かわい かつとし

河合 克俊

加西市出身。建築事務所カワイデザインワークス主宰。主に設計監理を担い、DIYを取り入れた誰もが参加できる建築を心がけている。共同でソーシャルキッチン「O Cha No Ma」を運営。

加西のくらしで大切にしているコト。

- 1。個性豊かな面白い人々とのつながり
- 2。身近にある丁度良い自然環境
- 3。生産者さんの顔が思い浮かぶ農産物・加工品

これからの
活動紹介 NO.2

おソト部



VISION

遊び転じて新価値創造！

加西市のくおソト>にある資源を活用し、まずは徹底的に遊ぶことを考え、そこから生まれたアイデアをプログラムや商品に発展させる。

ACTION

- 新たな拠点づくり
- 拠点を軸に、ソト遊びで発見したリソースを持ち帰る。
 - ・ソト遊び：登山、サイクリング、山ご飯、バーベキュー、ハンモックなど。
 - ・リソース：遊び方、風景、植物、新発見など。
- ウチ遊びの実践
 - ・ハンモックづくり、野花のハーバリウム、映画鑑賞など。
- 商品・サービス化
 - ・ソト遊びは、イベントやプログラム化。
 - ・ウチ遊びは、商品企画化。

RESOUSE

- 自然環境（山や自然公園、サイクリングロード、田畑など）
- 自然素材（野花、木、石、わら、音、風、水など）

KEY WORD

(PLAY+RESOUSE) × IDEA=∞

「おソト部」は、外で遊びながらプログラムを生み出していく活動です。加西は自然素材がとても豊か。古法華山の登山やロードサイクリング、キャンプなど加西 × アウトドアを観光につなげ、そこで生まれた自然素材を使ったコト（体験）・モノ（物品）を商品として整理し、自分でも旧市街地で店舗を構えることで商品を販売していければと考えてます。

この街にはアウトドア的な要素以外にも、鶺野飛行場跡や古墳など、まだまだ活かしきれていない「おソト」の観光資源がたくさんあるので、ぜひ加西を実際に訪れ、その価値を見出していきたいです。



加西の案内人 03



加西市地域おこし協力隊
KAP (Kasai Asobi Project) 代表

つじた あきのぶ

辻田 聡信

京都市出身。交流イベントで加西市を知り、地域おこし協力隊として現在も「北条コネ」の運営に関わる。この町の観光のこと、特にアウトドアフィールドの魅力を伝えたいと邁進。

加西のくらしで大切にしているコト。

- 1。地域の良さをそのまま活かす
- 2。自然体でいる
- 3。加西アルプスを愛す

のこ Re 部



VISION

ノコ Re モノにはフク来る！

加西市に眠る未利用な地域資源（ノコ Re）を活用し、まちの誇りをカタチにした商品・サービス開発と販売を通して、まちにシゴトを創り出す！

ACTION

- 加西市に眠る未利用な地域資源の発掘。
- それらを活用した商品開発のアイデア。
- まちの誇りをカタチにした商品・サービス開発と販売。

RESOUSE

- 未利用な地域資源
 - ・ぶどうの皮やラズベリーの葉など
 - ・未利用な設備や廃棄されるものなど

加西市内に眠る未利用な地域資源（ノコリモノ）に価値を見出し、商品化しようとする活動です。

実際に生まれた商品を販売する機会まで創出（果菜マルシェ等）できるようにするのがこの部のねらいです。商品開発時には、Reduce・Reuse・Recycleの「3R」の要素を大事にすることを目標とし、開発を通じて「Reborn（生まれ変わる）」「Refresh（元気になる）」「Re:come（加西に戻りたくなる）」ことを目指します。

あなたなら、ノコリモノを活かしてどう「てったう」？



情報発信部



加西の案内人 04



ママの働き方応援隊 北播磨校
加西学級代表

まわたり ゆきこ

馬渡 友樹子

加西市出身。赤ちゃん先生やイベント主催、加西を楽しむ女性のための新聞の発行、子育てサークルの運営等に携わり、加西のまちの暮らしの充実を目指す。女性が活躍できる場が増えることを望んでいる。

加西のくらしで大切にしているコト。

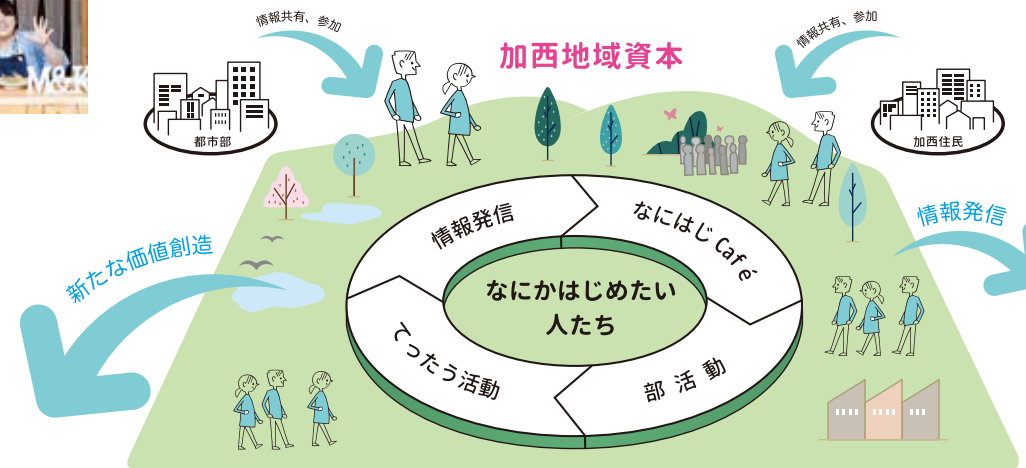
1. 加西愛を忘れない
2. あるものを楽しむ
3. 楽しいことをする



情報発信部では、加西市にある社会資本（人のつながりなど）や環境資本（自然や文化など）、経済資本（企業活動など）の加西の人々の暮らしを本質的に豊かにするモノやコトを表す加西地域資本についての情報を発信します。まずは、加西を中心に活動しておられる人々の活動から広く伝えていくことを目指します。

また、都市部と加西市をつなぐファンコミュニティ「なにはじコミュニティ」も SNS 上で展開します。ぜひ、情報発信と一緒に「てったう」欲しいです。

なにはじ
コミュニティ
加西グループ



加西の案内人 05



ローカルプロデューサー
しもえ かずまさ

下江 一将

島根県出雲市出身。加西市での地域おこし協力隊の活動を経て、加西のまちの人々が声を出せる場、相談できる環境づくりを大事にし、都市との交流イベントを開催し対話の場づくりを目指している。

加西のくらしで大切にしているコト。

1. 加西をより良くしようと頑張っている人とその想い
2. 暮らしている西在田地区の人とのコミュニケーション
3. ワクワク、イキイキ

あなたなら「どう手伝う？」加西の魅力

① 気球



どう
「てったう？」

加西では気球の飛行できる素晴らしい環境があり、飛行シーズン（11月～5月）には全国から多くの気球チームが訪れる。

② 鶉野飛行場跡



どう
「てったう？」

旧日本海軍の飛行場跡。現在も、周辺には防空壕の跡など生々しい戦争の爪痕が見られる貴重な施設。

③ 北条鉄道



どう
「てったう？」

加古川線の粟生駅から北条駅までを結ぶ単線のディーゼル路線。貸切列車などのイベントを行い、駅の活用法など課題もある。

④ フラワーセンター



どう
「てったう？」

約46haにおよぶ松の自然林をそのままに生かした、全国でも有数の花と緑の植物園。サルビアやチューリップなどが有名。

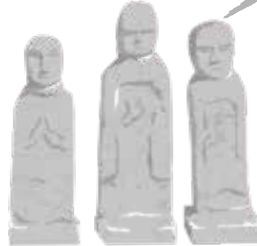
⑤ 北条旧市街地



どう
「てったう？」

江戸時代には在郷町（ざいごうまち）として発展し、人々の往来と交易によって賑わった町並みは、歴史的景観を残している。

⑥ 五百羅漢と石仏



どう
「てったう？」

江戸初期の石仏約500体がほぼ原型を留めており、「誰かに似た像が」と古くから民間の信仰や伝承の対象になっている。

価値

てったう = 手伝う

TETTAU

加西をはじめ播州のことは、
ちょっと仕事にトライしてこのまち
の魅力UPにつなげませんか。

市民

都市

⑦ 加西アルプス



どう
「てったう？」

善防山から笠松山の稜線帯で、その絶景から「アルプス」の名がついた。露出した岩尾根や吊り橋、鎖場など見所も満載。

⑧ 玉丘古墳



どう
「てったう？」

5世紀前半に築造された全長109mの前方後円墳。播磨風土記にも記載のある根日女の恋伝説を伝える。

⑨ ベリーA



どう
「てったう？」

全国的知名度をほこる「加西ゴールデンベリーA」は、産地減少から希少価値の高いぶどうとなった。加西の夏の風物詩。

⑩ 山田錦



どう
「てったう？」

全国の酒蔵に「至高の日本酒を生み出す最高の原料兵庫産山田錦」として出荷。市内の水稻面積の20パーセントを占める。

「なにはじ加西コミュニティ」では、加西市の地域の皆さんや都市部の皆さんと加西市の魅力と課題を共に考え、「てったって」もらえるように、なにかをはじめたい人たちの相談の場となる「なにはじCafé」をオープン予定です。さらにそれぞれの部活動でも、地域とコラボすることで、様々な「てったう」サービスを生み出していくことを計画しています。

つづく